



おだわら市民学校

Odawara Citizen School

令和8年度 募集のご案内



小田原市

おだわら市民学校とは

人に支えられ醸成された、豊富な地域資源に恵まれた小田原
しかし、そこには乗り越えなければならないさまざまなまちづくりの課題もあります。
地域の今と未来のため、そして「持続可能な地域社会」の実現のためには、
さまざまな世代や立場の皆が郷土を愛し、手を携えチカラを発揮して
課題を乗り越えていくことが求められます。

**「おだわら市民学校」は、皆で集い、ともに学び、
仲間や地域とのつながりを深め、「人のチカラ」を育む “学び合いの場”**

「人のチカラ」が小田原の未来を拓きます。
学びを通じて創られる、皆さんのチカラと思いを未来に繋げてください。

■おだわら市民学校の特徴



おだわら市民学校は**まちづくりの課題解決の担い手につながる人材**を育成する学校です。

- まちづくりの現場で活躍する実践者が講師をつとめることにより、現場のリアルをより感じられるカリキュラム
- 思いを同じくする仲間とのつながりを築く2年間の学び合い
- 郷土小田原を知ることができる座学と体験を織り交ぜたカリキュラム
- 各分野行政担当課のかかわりによる専門的で実践的な学び

巡り来る春の暖かさに抱かれながら、「おだわら市民学校」の名誉校長に就任することに、心よりのよろこびを感じております。美しき自然に抱かれて、豊かな歴史と文化を育んできた「おだわら」の地で、優しさを与え合いながら生活されている市民の皆様方と、共に学び合う幸せをかみしめることができるからです。

「おだわら市民学校」という市民の「学び合いの場」では、市民ひとり一人の人間としての生きる力を高めながら、市民がお互いに温かい手と手を取り合い生きていく市民の絆を強めていくことを目指していきます。

それこそが小田原市が推進してきた地域社会の問題を市民が自発的に解決していく「地域力」を高め、「おだわら」の夢を开花させる希望となると考えています。

おだわら市民学校名誉校長 神野直彦
(東京大学名誉教授)



※就任時ご挨拶

おだわら市民学校の仕組み

おだわら市民学校は2年制です

基礎課程では「郷土愛」を育み、専門課程では「実践活動を通じた課題解決への意識」を醸成します。
さらに「郷土の魅力を深掘り」したいかたは、教養課程で学ぶこともできます。

学校目標

中長期的なまちづくりの課題解決の担い手につながる人材育成

- ・まちづくりの課題に対する問題意識の醸成
- ・思いを同じくする市民の仲間づくりの促進

なにかボランティアや社会貢献がしたい
小田原のことを改めて学びたい 自分にできることを探したい
同じ思いの仲間をつくりたい 地域とつながる活動がしたい など

入校1年目

1

基礎課程「おだわら学講座」
～小田原の魅力を学び、郷土愛を育む～

入校1年目は

基礎課程「おだわら学講座」で学び

入校2年目は

「専門課程」で学びます

2年目には、専門課程の中から分野を必ず1つ選択してください。

「教養課程」も学ぶことができます
希望する方は、教養分野1つも同時受講できます。

入校2年目

2

専門課程

～問題意識を醸成し、実践の基礎を学ぶ～

4つの分野

- ① 支え合いのまち「ケアタウン」をつくる
- ② こどもを見守り育てる
- ③ 自然を守り育てる
- ④ 地域の「農」を支える

教養課程

～小田原の魅力を探求し、教養を高める～

2つの分野

- ① 郷土の魅力を知り深める
- ② 二宮尊徳の生涯と教養を学ぶ

卒業したら・・・

まちづくりの担い手に向けた多様な進路へ

1年目の学び

基礎課程「おだわら学講座」

郷土小田原の魅力を知り、さまざまな分野の活動にふれる

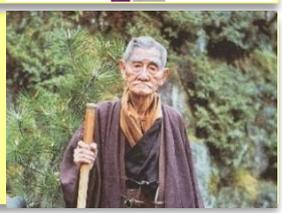
カリキュラムにはあふれる小田原の魅力を盛り込み、座学や体験を織り交ぜた学びから、改めて郷土小田原を知り、見つめ直します。

その中で、地域福祉や子育て支援、環境保全、農業などさまざまな分野の活動にふれ、2年目の専門課程で学びたい分野を見つけていきます。

令和8年度基礎課程カリキュラム 【募集定員 40名】

1	6/6 (土) 10:00~ 12:00	けやき	開講・オリエンテーション 市長講話 講師 おだわら市民学校校長・小田原市長 加藤憲一	
2	6/27 (土) 9:30~ 12:00	けやき	小田原の農業 ～現状・課題～ 講師 かながわ西湘農業協同組合 農地活！片浦	
3	7/18 (土) 13:30~ 16:00	けやき	市民活動の意義と 小田原市の地域活動 講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 地域政策課 代表理事 廣瀬隆人氏	
4	7/25 (土) 9:30~ 12:00	けやき	小田原の地域防災 ～防災概論(地震・水害)とその備え～ 講師 防災対策課	
5	8/22 (土) 9:30~ 12:00	けやき	小田原の子育て事情 講師 小田原短期大学教授 尾野明美氏 子ども政策課 教育総務課 小田原市主任児童委員	
6	9/12 (土) 9:30~ 12:00	尊徳 記念館	郷土の偉人・二宮金次郎 ～尊徳記念館見学とミニ金次郎講座～ 講師 尊徳記念館学芸員 /二宮尊徳いろりクラブ	

※日程や内容、講師については、現段階での予定ですので変更になることがあります。

7	10/3 (土) 9:00~ 12:00	郷土文化館 ・ 城山周辺	小田原の歴史 ～郷土文化館見学、小田原城跡案内～ 講師 NPO 法人小田原ガイド協会	
8	10/17 (土) 9:30~ 12:00	街かど博物館	小田原のなりわい・産業文化 ～街かど博物館めぐり～ 講師 NPO 法人小田原ガイド協会	
9	11/8 (日) 12:00~ 15:30	小田原三の丸ホール	小田原の民俗芸能 ～小田原民俗芸能保存協会後継者育成発表会～ 講師 小田原民俗芸能保存協会	
10	11/21 (土) 9:45~ 12:15	辻村農園 ・ 山林	小田原の自然環境 ～江戸時代から続く山林・農園の運営と多目的森林活用～ 講師 辻村農園・山林代表 辻村百樹氏	
11	12/19 (土) 9:30~ 12:00	けやき	小田原の地域福祉 ～ケアタウンの実現に向けて～ 講師 東京大学医学系研究科・医学部 学部教育改革特任助教 飯山智史氏 福祉政策課	
12	1/16 (土) 10:00~ 12:00	けやき	令和9年度専門課程説明会 講師 専門課程・教養課程講座担当課	
13	1月 (土) 9:30~ 12:00	けやき	情報の発信 ～収録体験と情報発信のコツ・注意点～ 講師 調整中	
14	2/6 (土) 10:00~12:00 or 13:30~15:30	松永記念館	小田原と茶の湯 ～松永耳庵と松永記念館～ 講師 郷土文化館学芸員	
15	2/20 (土) 9:30~ 12:00	けやき	学びの振り返り 学びを生かす方法とは 講師 神奈川大学人間科学部教授 齊藤ゆか氏	
※ 3月 (土)	けやき	基礎課程「おだわら学講座」閉講式・記念講演 講師 おだわら市民学校名誉校長・東京大学名誉教授 神野直彦氏		

2年目の学び



専門課程 ※令和9年度開講

問題意識を醸成し、実践の基礎を学ぶ

興味関心のある分野を1つ選択し、さまざまな実践者の活動に触れることで現場のリアルを体験し、問題意識を高める講座です。

<1> 支え合いのまち「ケアタウン」をつくる

小田原市は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支え合いのまち「ケアタウン」の実現を目指しています。「ケア(care)」は、「見守り」と「支え合い」。お互いを大切に「見守り」、安心して暮らせるよう「支え合う」ことが、ケアタウンの基本です。

この講座では、高齢や障がいなど福祉分野に関する基礎知識を学び、地域福祉活動の現場での体験を通じて、受講者それぞれの「ケア」の実践への取り組み方を考えます。



<2> こどもを見守り育てる

すべてのこどもが、家庭や地域において豊かな愛情に包まれながら、夢と希望を抱き、個性豊かに育つことは、小田原の明るい未来をつくるうえで何より大切です。

この講座では、子育て支援活動や見守り活動の実践者との対話や体験を通じて、小田原のこどもたちを取り巻く現状や課題を学びます。また、受講者同士で考えを共有し、活動の場の発見や新たな活動を始める仲間づくりを進めます。



<3> 自然を守り育てる

小田原の豊かな自然環境は、清浄な水や空気をつくって私たちの生存を支え、同時に多様な生態系を維持する基盤であるとともに、地域の経済を担う生産基盤でもあります。

この講座を通じ、様々な環境問題を身近に捉え自らができることを考え、行動を起こし、環境保全に携わる取組の輪を広げていきます。実習を中心とした学びにより、多くの実践団体と交流し意見交換することで、小田原の自然環境の状況や課題の理解と、活動や実践団体との具体的な関わり方を見つけます。



<4> 地域の「農」を支える

農業者の高齢化などに伴う担い手の不足や耕作放棄地の増加など、営農環境を取り巻く様々な課題を解決していくため、多様な担い手による営農や援農などの取組が求められています。

この講座を通じ、農業現場の課題を学び、今の自分に可能な活動を見つけ、援農団体などで活動できるチカラを育みます。実際に営農、援農に取り組む団体等の活動に参加するなどして、農業の魅力・課題・可能性に触れます。



教養課程 ※令和9年度開講

郷土小田原の魅力を学び、知識を深める

教養課程は、より深く小田原の魅力を学び、小田原に関する教養を高めることを目的としています。希望するかたは専門課程1つと教養課程1つを同時に受講できます。

<1> 郷土の魅力を知り深める

小田原には、地域特有の歴史や文化など、貴重な財産として未来に引き継ぎたい多彩で豊富な地域資源があります。

この講座を通じ、郷土小田原の魅力を感じ取り、郷土愛を深めるため、さまざまな地域資源について、座学と実習を交えて学びます。



<2> 二宮尊徳の生涯と教えを学ぶ

小田原は二宮尊徳の生誕地であり、この地で「報徳仕法」の土台が築かれました。小田原が二宮尊徳の教えに基づき、人づくり・まちづくりに取り組むため、二宮尊徳の教えを学び、伝えていく人たちが求められています。

この講座を通じ、二宮尊徳の業績と教えについて、座学と実習を交えて考えます。



卒業式

令和10年3月に卒業式を予定しています。

1年目の基礎課程と2年目の専門課程で7割以上出席した方に卒業証書を授与します。



おだわら市民学校 卒業生の声

M.Mさん 50代・女性

コロナ渦の最中に国府津に移住してきて、仕事も市外に通勤しているため知り合いが誰もいない毎日で、なんとなく自分のホームタウンという感覚が持てずにいました。

地元のことを知りたい!!という気持ちから市民学校を受講しましたが、2年間で小田原の昔から今を幅広く学ぶことができ、やっと小田原市民になれたような気がするのと同時に今まさに風前の灯と言ってもいいような様々な問題について何か自分にできることが無いかと考えるようになりました。ジモトモも出来、今後の小田原生活がもっと楽しみになりました。

瀬沼博さん 60代・男性

山・里・川・海がすべてそろう自然に恵まれた小田原。

野山や海岸を散策するだけでも色々な発見があるが、自然に親しむだけでなく自然を守ることが重要な課題だと再認識。ここで学んだことを活かして環境保全やゴミ削減など自分なりにやれることを実践しようと決意した。一緒に学んだ仲間ができたことも自分にとって大きな財産となった。

小田原を愛するかたへ参加を是非おすすめします。

T.Sさん 50代・女性

子育てを終え、何か始めたいと思い参加しました。様々な立場の講師の方々のお話は「なるほど!」と驚く発見ばかりで視野がぐんと広がる楽しさがありました。

また、体験を通して地域の温かな繋がりに触れる子ども達を支える地域活動の大切さや楽しさを実感しました。ここで得た学びや新鮮な気持ちを大切に、自分にできることから一歩ずつ子ども達の成長のお手伝いをしていきたいです。

おだわら市民学校 第8期入校生募集

入校期間 2年間 令和8年度基礎課程 ～ 令和9年度専門課程

対 象 まちづくりに興味があり、**基礎課程「おだわら学講座」の受講後、2年目に専門課程のいずれか1分野を受講できる** 15歳以上のかた（中学生を除く）

定 員 40人 ※申込多数の場合は抽選により決定します（市内在住者優先）。

受講料 2,000円 /基礎課程「おだわら学講座」分（2年目の専門課程・教養課程は別途かかります）

申込方法 4月1日（水）から申込開始

①**電子申請** ②**電話**（生涯学習課 TEL0465-33-1882）

【第8期入校】

申込締切 令和8年4月22日（水）一次締め切り



※①24時間受付、②受付時間は9:00～17:00

※講座回数等が変更になる場合がありますが、受講料の払い戻しはいたしません。ご了承ください。

追加募集について

一次締め切り後、定員に達していない場合は、追加で申込を受け付けます。

【定 員】一次締め切り終了後の残り定員数（申込先着順）

【申込方法】**電話（9:00～17:00（第4月曜日の休館日を除く））**

【申込締切】6月5日（金）まで（定員に達し次第、募集を締め切ります。）



おだわら市民学校事務局

小田原市文化部生涯学習課（生涯学習センターけやき）

電話：0465-33-1882

FAX：0465-35-5449

Eメール：keyaki@city.odawara.kanagawa.jp

住所：〒250-8555 小田原市荻窪300番地

《おだわら市民学校 HP》

